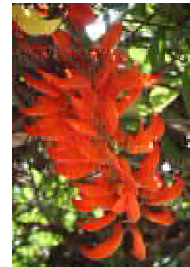




Easter Village

イースタービレッジだより 第57号



復活祭はイースタービレッジのフィエスタです

壁ではなく橋を作る

「橋を作ることを考えず、壁を作ることばかり考える人はキリスト者ではありません。」

フランシスコ教皇が偉い国の大統領に言った言葉だ。世界情勢を見れば「国」という巨大組織のエゴが可視的、不可視的壁を作っている。

イースターの準備をしていたイースタービレッジのホープホームが何者かによってドアを破壊され、番犬は殺され、略奪されるという事件が起きた。ホープホームは川を挟んで向こう側、マキララ町側の大きな敷地、1.5ヘクタールほどの土地の中にある。今までもドリアンや果物が何者かによって盗まれていた。しかし、今回ほど、深刻なダメージを受けたのは初めてのことであった。

守るためにはもっと堅固な壁を作らなければならないのか。連絡を受けた僕はそんなことを考えていた。しかし、現在のイースタービレッジを預かるセレスさんの決断は違っていた。ホープホームのある地域の責任者と会い、困っている子どもたちへの奨学制度を持ちかけたのだ。その地域を熟知する責任者はさっそく、支援を一番必要としている子どもたちの親に会い、話を進めた。結果、11名の子どもたちがイースタービレッジの新しい奨学金制度で学校に行くことができるようになった。

今までであった目に見えない壁が壊されると、不思議なことが起こった。こちらが期待していないにもかかわらず、親達や子どもたちが進んで敷地の草刈や掃除を始めてくれた。地域の人たちに開かれた土地と建物になっていった。これからも壁ではなく、何かを隔てている者に架かる橋を作る人になり、そういう人づくりに努力したいものだ。

祐川郁生神父



かなり乱暴な手口でドアを開けられました。もちろん警察にも届けました

写真のように壁を壊して扉を開け、侵入してきました。幸い、誰もいない時間帯だったので、人への被害はありませんでした。盗む物といっても高価なものはないので、泥棒はがっかりしたと思います。かなり部屋を荒らされました。今は直して住んでいます。地域の人たちも今度は目を光らせてくれます。



イースターのお祝い



サギン地区のスカラーたち

ゲームをしたり、イースターエッグ・ハンティングをしたりして楽しみました。

それでは、写真で今年のイースター・イン・イースタービレッジをお楽しみ下さい。

今年の復活祭、イースターは4月16日でした。ちょうど夏休みの最中でしたので、今回は一日中、イースタービレッジでイースターのお祝いをしました。ミサに参加後日中は暑いので、夕方からみんなで色々なゲームをしたり、イースターエッグ・ハンティングをしたりして楽しみました。



イースターエッグよ、どこにあるの？



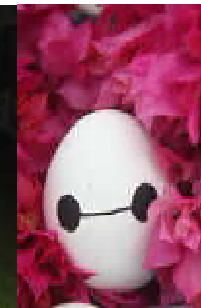
ついに見つけました！！



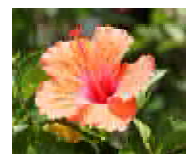
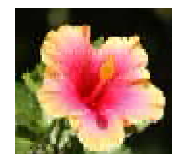
この中が怪しいぞ



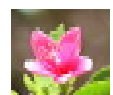
パーティーの時は、広い中庭でみんなでバーベキューを焼きます。今日の味も最高です。



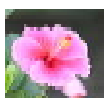
ゲームのーこま



ご寄付頂いた方々、
心より御礼申し上げます。



カトリック円山教会・イースタービレッジを支える会
気仙沼カトリック幼稚園 川本悦子
カトリック北26条教会 小野幌教会 松永武
株式会社・リモウ 松永輝子 川島惇 佐藤美也子
成島蓉子 亀田久美子 常田京子 永田淑子
カトリック倶知安教会 加藤典江 森田美千代
森脇栄一 トラピスチヌ修道院 浅井繁 菊地真澄
内田千賀子 鶴田幸子 石川雄治 阿部秀子
笠松博子 窄口三千江 山森芬 上野祐子
トーエイ貿易(株) 入江幸子 大崎彩子 油井博子
本間研二 祐川真一 難波則子 大塚美和子
山元尚子 田上紀子 長谷川敬
カトリック北広島教会(アルコールリス虹の会)
阿部小児科医院・理事長・阿部和男
阿部和加子 宮田敏夫・ゆかり 阿部美砂子
工藤麗子 笠原孝広 角田了 榎本みつ枝
聖ベネディクト女子修道院
末吉偕子 西優人 堀田敏弘
カトリック小野幌教会・キアラ会
大森アヤ子 雪田留美子 恒川葉子
飯塚雄介 芹田静江 用田恵 株式会社ウイズ
山田順一 宮坂建設株式会社 池宮枝利子 末沢史
岩崎矩子 湊百合子 カトリック手稲教会・福祉部
鈴木望・きよ美 佐山淑子 渡辺幸治
札幌インナーホールクラブ カトリック湯川教会
澤田あさみ 湯浅節子 森高真理 平田敦子
その他匿名の方々



(敬称略・順不同)

2017年2月9日～6月2日

EVの昨日今日

EV、表彰される

公益財団法人社会貢献支援財団より、海外部門で社会に貢献している団体として、「イースタービレッジを支える会」が表彰されることになりました。

活動内容を見学しに、東京から当財団の池田直美さん、ビデオ製作のために映像ディレクターでシネマグラフィアーの堀井威久磨さんがEVを訪ねてくれました。

滞在中には子どもたちと一緒に遊んだり、インタビューをしたり、7月21日、東京の帝国ホテルで行われる表彰式で発表するイースタービレッジの紹介ビデオの撮影を行いました。初めてみるドローン撮影には、子どもたちも興



味津々でした。表彰式にはフィリピンから副施設長のセレス（チェ・チエ）とメルス本田さん、札幌から祐川と支える会の西田淳子さんが参加する予定です。



ビレッジにはわずか一泊の滞在でしたが、子どもたちと良い交流ができました。

二枚目のアルバム作り

去年の8月末にリリースされたイースタービレッジのファーストアルバム「Thanks to you」が好評です。札幌教区100周年でもミニ・コンサートをさせてもらい、もつと聴きたいというリクエストにお応えして、現在、二枚目のアルバムを製作中です。

フィリピンの教会で歌われる良い曲やオリジナル曲、また、クリスマススの歌を盛り込み、『クリスマス・イン・イースタービレッジ』（仮称）のような物を作る予定です。乞う、ご期待。



練習風景の一こま

サマーキャンプ

フィリピンの夏休みは4月と5月ですが、この時期を利用して、AB SNET（地域に根ざした施設等のネットワーク）によるサマーキャンプが、5月16日から18日までイースタービレッジ敷地内で行われました。

今回はキダパワンを中心にした6つの団体が参加し、総勢100名を超える参加者でした。キダパワンの青年センター ミンダナオ子ども図書館 政府立の女性と子ども施設 ONDシスター方の女の子のための施設 ベドロナ・ファウンデーション（ビッグカワヤン町） イースタービレッジです。



各団体から車に横断幕をつけて、キダパワン市を走る車パレードから始まりました。ビレッジからは園バスが活躍



Freedom Wall それぞれの思いを書き込みます

同じ地域にある施設同志として交流をはかり、困難な状況を共に超えて行くことを目的として始められたものです。

第一回目がここイースタービレッジで行われました。それぞれテントを持参し、思い思いの場所に張り、様々なプログラムを通して有意義な夏の合宿、サマーキャンプになりました。車でのパレードに始まり、オリエンテーション、ゲーム、レクチャー、タレントを披露しあう集まりなど、良い夏の思い出になりました。



講師の話に耳を傾ける子ども、青年たち



ミンダナオらしくモスリムのダンスも披露



誕生日おめでとう

2月から5月までの誕生日を迎えた子どもたちを紹介します。

2月は26日に16歳になったエリサ。勉強にフットサル、テニスに頑張っています。現在は新しい教育制度で11年生です。29日は17歳になったジョーマル。彼は学校を中断していたので、まだ5年生ですが、飛び級に向けて勉強とテニスに頑張っています。

3月は6日に24歳になったゴゴ、市の臨時職員として働いています。サミーは4月10日に22歳になり、兄のダンテのいるジェネラルサントスでツナの缶工場で



左からエリサとジョーマル

働いています。3月16日にはインダイが14歳の誕生日を迎えました。



誕生日プレゼントをもらってご満悦のムロン(左)、ジュンジュン(右)とインダイ(右の女の子)

5月に入り、ジュンジュンが2日に11歳の誕生日を迎えました。同7日には仲の良いムロンもこれまた仲良く11歳になりました。

5月29日にはベルナが19歳の誕生日を迎えました。現在は大学3年生で、教育学を専攻しています。将来は先生になるのでしょうか。楽しみです。妹のエリサと名古屋の天使園からイースタービレッジに来て、早いもので10年の月日が流れました。今更ながら、色々な人たちの支えで子どもたちが成長していることに感謝しつつ、感謝の念が湧いてきます。



ベルナの誕生日はILプログラムの大きい子どもたちのグループでお祝いしました

追加出版のお知らせ

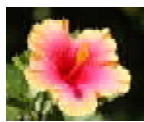
『イエスという人の物語』は2014年クリスマスに出版されましたが、この度、第二版が出されることになりました。144章、日本語でも千ページを超える作品ですが、地道にファンを増やしてきました。

ラテンアメリカで話題を呼んだラジオドラマに基づくイエス物語で、読者は知らず知らずのうちに、当時の普通の生活や習慣、社会状況を理解することになります。勝谷司教の推薦をいただいています。ご注文はCD(左頁)と同じく月寒教会まで。



Thanks to you!

ありがとう



Easter Village の待望の 1 st アルバム好評発売中！

子どもたちの中にある秘めた思いや、心から湧き出すメロディーを多くの恩人に届けようと、作詞、作曲を全員に課しました。最初は恥ずかしがりながらも「鼻歌」を持ち寄り、それをもとに肉付けをする形で、予想以上に素晴らしい詩とメロディーが生まれてきたことに驚いています。

イースタービレッジ・ディレクター 祐川 郁生

バナナ
パイナップル
マンゴスティン

いろいろな味があるように
僕らもみんな違うのだけど

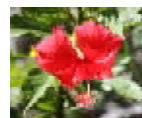
共に歌えばしあわせさ

(「虹」の一節より)



Easter Village のオリジナル 4 曲
勝谷太治司教のオリジナル 2 曲を含む
計 10 曲を収録。

01. Easter Village Song
02. Amahan namo (主の祈り)
03. キリストの平和
04. 喜びの知らせ
05. Salamat sayo!
06. 日常～サミーのギターにのせて～
07. Salamat Sa Tanan
08. 君の心に
09. 虹 Niji
10. My life



受付・問い合わせ

カトリック月寒教会 CD アルバム係り

〒003-0021

札幌市白石区栄通 2 丁目 11 16

Email: ako.martha@gmail.com 電話 (011)851-2032
Fax (011)851-2044





第一回ABSNET サマーキャンプの参加メンバーで記念撮影

<支援のお願い>

フィリピン南部にあるイースタービレッジ・ミンダナオは善意ある日本の皆様に支えられています。貧困と紛争の犠牲者となっている声なき子どもたちを私たちが支え、そして彼ら自身が自立し、貧困と紛争の原因を取り除く平和の使者となるようにできるだけ援助をしたいと考えています。与える以上に受けるものの方が本当はもっと多いのです。援助をくださる方は下記事務局にご連絡くださいませ。

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」(支援者募集)

代 表 勝谷 太治 事務局 西田 淳子 松川 厚明

060-0031 札幌市中央区北1条東6丁目10 カトリック札幌司教館内

「イースタービレッジ・ミンダナオを支える会」事務局

011-241-2785 Fax 011-221-3668

支援金 : 年会費一口 ¥5,000 (一口以上) 一般寄付

郵便振替口座番号: 0 2 7 6 0 - 3 - 3 9 4 7 3

口座名称: イースタービレッジ・ミンダナオを支える会

現地事務所: EASTER VILLAGE OFFICE

Riverpark Subd., Kidapawan City 9400 Cotabato Philippines

Tel: 63-64-577-4742 Fax: 577-3118 Email: info@eastervillage.com

Website: <http://eastervillage.com>

* 会員、並びに奨学生を支えて下さっているスポンサーの方々、一般のご寄付を下さった方々には継続してこのたよりを送らせていただきます。(年四回)



2017年6月

「イースタービレッジだより第57号」

発行責任者: 祐川郁生

